

ふくしま新ステージ 有識者懇談会 【第4回】

日時：令和元年12月25日 水曜日

午前10時～午前11時30分

場所：福島市役所 4階 市長応接室

～ 目次 ～

- (1) 第3回懇談会の振り返り 3**
- (2) 今後のスケジュール 6**
- (3) 新しい総合計画の体系図 7**
- (4) 「将来構想」及び「基本方針」の原案 . . . 8**

(1) 第3回懇談会の振り返り

～懇談会時の主なご意見（ポイント）～

分類	主なご意見（ポイント）
共通	○どこの市にもありそうなものではなく、 <u>オリジナリティ</u> や <u>特色</u> がほしい。
将来構想	○ <u>福島らしさ</u> があるキーワードがほしい。 ○10年後も将来構想のキーワードが使えるような、 <u>抽象的で柔軟性を含んだ</u> 、 <u>市民が理解しやすいもの</u> を謳うのが良い（具体的なものは基本方針）。 ○将来構想を <u>2段階構成</u> にしてはどうか。 最初に市民が「こういうまちにしたい」という描きたい姿を、次に福島市が「こういうまちを目指している」という姿を外に伝える表現など。 ○将来に向けたものとして、 <u>チャレンジや創造</u> というような <u>新しいものを生み出す</u> キーワードが重要である。 ○ <u>復興の概念</u> は何らかの形で入れるべき。 ○ <u>市民が当事者意識（主体性）を持ってまちづくりに参加する</u> という視点を盛り込んでほしい。 市民性を考えると「市民と一緒に作っていく（市民協働のまちづくり）」というようなキーワードは福島市に合う。

(1) 第3回懇談会の振り返り

分類	主なご意見（ポイント）
基本方針	<ul style="list-style-type: none">○福島市の<u>意気込み</u>や<u>勢い</u>を感じる表現がほしい。○限りある財源を考えると<u>プライオリティ</u>を付けなければならない。○<u>人口減少は最大の課題</u>。 人口というベースがある程度維持されないと将来的に市の取り組みが実現できない環境になる。○子どもや子育てに関するものは別立てが良い。 <u>未来への投資</u>や<u>未来に繋がる持続可能性</u>に関するものは<u>最重点的な取り扱い</u>にするべき。○様々な<u>価値観</u>や<u>多様性</u>を持った暮らしを求める社会に変化していることを踏まえる必要がある。○市民がそれぞれの幸せにチャレンジできるということはそこにある企業やまちも活性化することに繋がる。 <u>人が元気ががんばればまちも元気になるという循環</u>。○新しいものだけでなく、<u>伝統的な福島らしさ</u>を大事にする理念も必要である。

(1) 第3回懇談会の振り返り

分類	主なご意見（ポイント）
基本方針	<ul style="list-style-type: none">○<u>災害に強いまちづくり</u>は重要である。○教育を充実させ、子どもを産むことだけではなく、子育て世帯に来て（住んで）もらうことも重要である。○若者の活躍には就職先が重要となる。 人手不足のため需要はあるが、就職しても長く続かず離職してしまう、賃金や仕事内容などでマッチングが県外に向いてしまうことが多い。○女性の活躍に関しては、待機児童や病児病後児保育の課題があるが、お父さんやお母さんが子育てのために気兼ねなく会社を休める環境や社会風土も大事である。○子どもを産みたいと思っている方が産みたい時に産める環境が必要である。○交流人口の拡大には観光が重要である。
その他	<ul style="list-style-type: none">○外からの目線も参考になる。 市外の方がYu-Me（ゆめ）会議に参加すると違った視点が入る。

(2) 今後のスケジュール

各回の役割

懇談会の流れ

懇談会後の動き

第1回 (5/7)

- ◆新しい総合計画の構成と推進体制を理解する。
- ◆有識者懇談会に求められている役割を理解する。
- ◆今後のスケジュールを確認する。

【資料】

- ・当日配付

【事務局説明】

- ・新しい総合計画の構成
- ・有識者懇談会の役割
- ・全体スケジュール (ほか)

【懇談（議論）内容】

- ・新しい総合計画への思い、意気込み等を共有。

【その他】

- ・現時点で考える「将来に向けてどのようなまちを目指していくべきか」をテーマとした委員レポートの提出 (任意)。

- ◎第1回時点における委員の思いや意見等を集約し、将来構想等の参考とする
- ◎とともに第2回懇談会の議論に繋げる。

第2回 (8/22)

- ◆市の現状等を把握する。
- ◆Yu-Me(ゆめ)会議で出された意見や思いを把握する。
- ◆目指すべき将来のまちの姿(将来構想)、政策の方向性(基本方針)を検討する。

【資料】

- ・事前配付

【事務局説明】

- ・前回振り返り+委員レポート
- ・現行総合計画の進捗状況等
- ・社会指標分析(統計)
- ・市民アンケート調査報告
- ・Yu-Me(ゆめ)会議報告 (ほか)

【懇談（議論）内容】

- ・市の現状やYu-Me(ゆめ)会議の状況等を踏まえ、将来構想、基本方針等に関する議論。

【その他】

- ・将来構想等に対する委員レポートの提出(任意)。

- ◎各回時点における委員の大所高所の幅広い視点からの意見等を集約し、次回の懇談会の議論に繋げる。
- ◎将来構想、基本方針をブラッシュアップする。
- ◎意見書の構成・内容等を検討する。

第3回 (11/14)

- ◆Yu-Me(ゆめ)会議で出された意見や思いを把握する。
- ◆目指すべき将来のまちの姿(将来構想)、政策の方向性(基本方針)のたたき台を検討する。

【資料】

- ・当日配付

【事務局説明】

- ・前回の振り返り
- ・Yu-Me(ゆめ)会議報告
- ・将来構想、基本方針のたたき台 (ほか)

【懇談（議論）内容】

- ・これまでの懇談経過等を踏まえ、将来構想、基本方針のたたき台に関する議論。

第4回 (12/25)

- ◆目指すべき将来のまちの姿(将来構想)、政策の方向性(基本方針)の原案に対して意見を出す。
- ◆意見書を検討する。

【資料】

- ・事前配付

【事務局説明】

- ・将来構想(原案)
- ・基本方針(原案) (ほか)

【懇談（議論）内容】

- ・これまでの懇談経過等を踏まえ、将来構想、基本方針の原案に対する意見。

第5回 (1/15)

- ◆目指すべき将来のまちの姿(将来構想)、政策の方向性(基本方針)の原案に対する意見書をまとめる。

【資料】

- ・事前配付

【事務局説明】

- ・意見書(案) (ほか)

【懇談（議論）内容】

- ・将来構想、基本方針の原案に対する意見書の決定。

- ★1月24日(金)
有識者懇談会から市長へ意見書を提出

- ◎1月第5週
有識者懇談会からの意見書を踏まえ、庁内策定委員会にて将来構想、基本方針の案を決定する。

(3) 新しい総合計画の体系図

令和元年度

令和2年度

将来構想

10年先を見据えた**目指すべき**
将来のまちの姿

基本方針

将来構想を実現するための
政策の方向性である
5年間の**基本的な考え方**

重点施策

将来構想や基本方針を
実現するために
重点的に取り組む**施策**

分野ごとの
個別施策

より具体的な分野ごとの
個別施策

将来
構
想

1 基本方針

2 基本方針

3 基本方針

5 基本方針

【例】子ども

【例】シティセールス

【例】バリアフリー・
多文化共生

【例】復興・
災害に強い

【例】人口減少対策

【例】広域連携
…など

【例】
放射線対策
安全安心
健康・医療
福祉
子育て・教育
農工商業
観光
雇用
交通
中心市街地
定住交流
文化・芸術
スポーツ
住まい
環境
情報通信
生涯学習
国際化 …など

(4) 「将来構想」及び「基本方針」の原案

案	将来構想 ※2段階構成	主な考え方
①	市民と創る いきいき田園文化都市 ～世界にエールを送れるまち 県都ふくしま～	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2段階構成。 ◆ 1つ目に「市民の描きたいまちの姿」、2つ目に「外に伝えるまちの姿」を表現した。 ◆ 子どもからお年寄りまで分かりやすい表現とした。 ◆ 将来に向けて新しいものを生み出す表現とした。 ◆ <u>福島県のトップリーダーとしての役割や使命を表現するため、「県都」という言葉を盛り込んだ。</u> ◆ <u>市民の主体性や一体感、協働の視点を盛り込んだ。</u> ◆ <u>復興の視点を盛り込んだ。</u> ◆ Yu-Me (ゆめ) 会議や市民アンケート調査において、福島市の未来の姿や魅力を尋ねた際に多かった、「ひと(市民、みんな)」「元気な姿」「地域資源」「届けること」に関するキーワードを盛り込んだ。 ◆ 「ひと(市民、みんな)」：子どもや世代、地域のつながり、人の優しさや温かさ、暮らし ◆ 「元気な姿」：若い世代や女性の活躍、観光や産業、地域経済、駅前などの活性化 ◆ 「地域資源」：自然や果物、花、音楽 ◆ 「届けること」：情報発信、PR
②	みんなとつくる 元気都市 ～世界にエールを送れるまち 県都ふくしま～	
③	みんながつくる、みんながチャレンジ、みんなが主役 ～世界にエールを送れるまち 県都ふくしま～	
④	私がつくる 魅力あふれるまち ～世界にエールを送れるまち 県都ふくしま～	
案	基本方針 ※3つ～5つ想定	主要要素(重点施策につながる要素など)
①	1 ふれあいつながる ふくしま	① 誰にでもやさしい、多文化共生・多様性、子育て支援・教育、福祉、安全安心、生涯学習、若者・女性活躍、市民協働、官民連携
	2 わくわくする ふくしま	② 地域経済の活性化、産業(農工商)、観光、雇用、定住交流、スポーツ、情報・先端技術、伝統ある福島らしさ(歴史文化)
	3 進化する ふくしま	③ 力強い復興、災害に強い、風格ある県都、広域連携、人口減少対策、環境、シティーセールス
②	1 未来が見えるまち	① 人口減少対策、子育て支援・教育、若者・女性活躍
	2 笑顔で暮らすまち	② 誰にでもやさしい、多文化共生・多様性、安全安心、生涯学習、市民協働、官民連携、定住交流、環境
	3 力をつけるまち	③ 力強い復興、災害に強い、地域経済の活性化、産業(農工商)、観光、雇用、スポーツ、情報・最先端技術
	4 伝えるまち	④ 風格ある県都、広域連携、伝統ある福島らしさ(歴史文化)、福島の元気な姿を伝える、シティーセールス
③ 追加	1 子どもたちの未来が広がる子どもファーストのまち	① 人口減少対策、子育て支援・教育、若者・女性活躍
	2 暮らしを支える安全安心・文化のまち	② 安全安心、災害に強い、伝統ある福島らしさ(歴史文化)、誰にでもやさしい、多文化共生・多様性、生涯学習、定住交流、環境
	3 産業とにぎわいを生み出す活力躍動のまち	③ 地域経済の活性化、産業(農工商)、観光、雇用、スポーツ、情報・最先端技術
	4 福島新ステージに向けて、共創・発信・挑戦	④ 福島の元気な姿を伝える、シティーセールス、市民協働、官民連携、力強い復興、風格ある県都
④	1 子どもの未来が広がる ふくしま	① 人口減少対策、子育て支援・教育、若者・女性活躍
	2 ひとと暮らしに愛着 ふくしま	② 誰にでもやさしい、多文化共生・多様性、安全安心、生涯学習、市民協働、官民連携、定住交流、環境
	3 まちが躍動 ふくしま	③ 地域経済の活性化、産業(農工商)、観光、雇用、スポーツ、情報・最先端技術
	4 毎日が挑戦 ふくしま	④ 力強い復興、災害に強い、風格ある県都、広域連携、伝統ある福島らしさ(歴史文化)
	5 誇れる魅力を発信 ふくしま	⑤ 福島の元気な姿を伝える、シティーセールス
⑤	1 みんなが安全安心に暮らせるまち	① 復興、放射線対策、消防力の充実強化、災害対応(国土強靱化)、危機管理
	2 子どもの活躍と支える家族を応援するまち	② 待機児童対策緊急パッケージ、充実した学習環境の整備、子ども達のチャレンジ応援、人口減少対策
	3 健康、笑顔あふれるまち	③ 健都ふくしま創造、多文化共生、バリアフリー、若者と女性活躍
	4 街が、地域が、活みなぎるまち	④ 中心市街地の活性化、地域(各地区)の活性化、産業(農工商)振興、雇用創出
	5 ハーモニーをかなでるまち	⑤ 観光振興、歴史と文化を生かしたまちづくり、定住交流、広域連携、シティーセールス

※ アンダーラインは各原案や考え方などの特徴的な部分を示しています。
 ※ 各原案は順不同です。

～ 事務連絡 ～

※第5回懇談会は

と き 1月15日(水)

午前10時～午前11時30分

ところ 福島市役所 4階 市長応接室

での開催を予定しています。